

2. 流域及び河川の自然環境

2-1 流域の自然環境

2-1-1 植物

網走川流域の地形は山岳地から低湿地に至る高度差も大きく、加えて河川、湖沼、海と非常に変化に富んでいる。このため、低地帯から高山帯までの様々な植生が見られ、源流域の阿寒岳周辺にはハイマツに代表される高山植物群落が見られ、それより標高が下がるに従い、針葉樹林、針広混交林、広葉樹林となっていく。特に津別峠、チミケツブ湖周辺等の山岳地帯には、エゾマツ・トドマツの針葉樹林が広く分布している。山麓部では、エゾマツ・トドマツの針葉樹とミズナラ、エゾイタヤ等の広葉樹が混生する針広混交林が代表し、カラマツの人工林も比較的良く見られる。

網走川や網走湖周辺にはヤナギ林やヨシ群落等の水辺特有の植生となっており、網走湖畔には天然記念物に指定されている女満別湿性植物群落等が分布している。



エゾマツ林



女満別湿性植物群落（ミズバショウ）

2-1-2 哺乳類

網走川流域は山地や丘陵地を中心に自然林が多く残されており、近くに阿寒国立公園、網走湖、能取湖等の大きな湖沼があることから、哺乳類の生息環境として恵まれた地域である。

上流部の森林地域では、エゾシマリス、エゾリスや、大型哺乳類のエゾヒグマ、エゾシカが広く生育している。平野部や下流域では、農耕地やヤナギを主とする河畔林が見られ、キタキツネ、イタチ、イズナ、エゾリス、カラフトアカネズミ等の中・小型の哺乳類が生息している。



キタキツネ



エゾシカ

2-1-3 鳥類

網走川流域は、自然林が多く残され、また低地帯から高山帯、さらには網走湖やチミケッブ湖等の様々な環境に恵まれていることから、全般に鳥類相は豊富で多種類の鳥類が見られる。

市街地や集落地の周辺では、ムクドリ、ハシブトカラス、スズメ、トビ等が優占し、平地から林縁地にはシジュウカラ、ホオジロ、モズ等が見られる。

山地部の落葉広葉樹林には、コガラ、アカゲラ、コゲラ、エナガ、オオルリ等が生息し、溪流ではカワセミ、カワガラスが見られる。また、高海拔地の針葉樹林には、ウソ、アオジ、コサメビタキ、クマゲラ、センダイムシクイ等が生育する。

網走湖の水面には、オオハクチョウをはじめ、マガモ、オナガガモ、ホシハジロ等のガン・カモ類が飛来し、また、ユリカモメ、オオセグロカモメ等のカモメ類やシギ類等の水辺の鳥類が多数生息する。なお、網走湖畔のヤチダモ林一帯は、アオサギの繁殖地として有名である。

貴重種としては、オジロワシ、オオワシ、オオジシギ、カワセミ、ヒシクイがあげられる。



オオワシ



アオサギコロニー

2-1-4 昆虫類

網走川流域は北東部地域にあって夏季の冷涼、冬季の酷寒という気象条件下にあるが、自然植生地がまだ比較的広く残されていることから、ヒメウスバシロチョウ、エゾチツゼミ等の北海道特産種、準北海道特産種、キタイトトンボ、ゴトウアカイトトンボ、エゾリンゴシジミ等の北海道を分布の南限とする種の多くの昆虫が生息している。



ヒメウスバシロチョウ

2-1-5 魚類

網走川の魚類の生息分布はエゾウグイが全域に生息するほか、底質に粘土や砂が多い下流部の緩流域ではドジョウ、エゾホトケ、ヤチウグイ、ウキゴリ、カワヤツメ等が生息しており、底質が礫や砂で水が澄んだ中流域ではエゾウグイ、フクドジョウが多数生息している。礫底が主体となる上流部ではサクラマス（ヤマメ）、シベリアヤツメ、アメマス、ハナカジカ等の渓流性の魚類が生息する。網走湖にはワカサギ、シラウオ、エゾウグイ、ヤチウグイ等が多く生息している。



アメマス



サクラマス（ヤマメ）

2-1-6 両生類・爬虫類

網走川流域の両生類は、北海道の山林原野に普通に生息しているエゾアカガエルが代表的である。また、「北海道の希少野性生物 北海道レッドデータブック2001」において留意種に選定されているエゾサンショウウオも網走湖周辺の沢水のたまる場所で確認されている。爬虫類は調査記録が少ないが、アオダイショウ、シマヘビ、カナヘビ等の生息が確認されている。

表 2-1 網走川の特定種-1

区分	NO	種名	指 定 区 分			
			文化財保護法	環境省レッド データブック	北海道レッド データブック	その他
植物	1	ヤチスギナ		EN	Vu	自然(貴重)
	2	エゾノミズタデ			Vu	自然(貴重)
	3	ノダイオウ		VU		
	4	エゾノミヤマハコベ		VU		
	5	エゾハコベ		EN	Vu	自然(貴重)
	6	エゾオオヤマハコベ				自然(貴重)
	7	アカミノルイヨウショウマ				自然(貴重)
	8	フクジュソウ		VU	Vu	
	9	マツモ			R	
	10	エゾオトギリ		VU		
	11	ツルキケマン		EN		
	12	エゾスズシロ				自然(貴重)
	13	ワサビ			R	
	14	ハマタイセイ		CR	En	
	15	エゾネコノメソウ		EN		
	16	ヤグルマソウ			R	
	17	クロミサンザシ		CR	Cr	自然(貴重)
	18	エゾシモツケ		EN		
	19	ホザキシモツケ		VU		
	20	オオバタチツボスミレ		VU		
	21	エゾサイコ			R	
	22	エゾムラサキツツジ		VU		自然(貴重)
	23	クリンソウ			Vu	
	24	エゾノカワヂシャ				自然(貴重)
	25	ネムロブシダマ		VU		自然(貴重)
	26	イトモ		VU		
	27	クロユリ			R	
	28	エゾヒメアマナ		VU	R	
	29	ヒメウキガヤ			R	
	30	ミクリ		NT	R	
	31	タマミクリ		VU		
	32	ジョウロウスゲ		EN	R	
	33	アカンカサスゲ			R	
	34	ネムロスゲ		VU		
	35	ウスイロスゲ		VU		
	36	ヒメホタルイ			R	
	37	コオノオレ		VU		
	38	キタミフクジュソウ		VU	Vu	
	39	チドリケマン		NT		
	40	ヤマタニタデ		VU		
両生類	1	エゾサンショウウオ			N	自然(主要)、第2(選定)
爬虫類	2	カラフトアカネズミ			N	
哺乳類	3	テン属の一種(エゾクロテン)		DD		

表 2-2 網走川の特定種-2

区分	NO	種名	指 定 区 分			その他
			文化財保護法	環境省レッド データブック	北海道レッド データブック	
鳥類	1	カンムリカイツブリ			Vu	
	2	ヒシクイ	天然	VU	R	
	3	コハクチョウ			R	
	4	オシドリ			R	
	5	ヨシガモ				自然(主要,自然)
	6	シノリガモ			R	
	7	ミコアイサ			Vu	
	8	ミサゴ		NT	Vu	
	9	オジロワシ	天然	EN	En	絶滅(国内) 自然(主要,自然)
	10	オオワシ	天然	VU	En	絶滅(国内)
	11	オオタカ		VU	Vu	絶滅(国内)
	12	ハイタカ		NT	Vu	
	13	ハイイロチュウヒ			R	
	14	チュウヒ		VU	Vu	
	15	ハヤブサ		VU	Vu	絶滅(国内)
	16	エゾライチョウ		DD	R	
	17	タンチョウ	特天	VU	En	絶滅(国内), 自然(主要)
	18	ホウロクシギ		VU	R	
	19	オオジシギ		NT	R	自然(主要)
	20	ヤマセミ			R	自然(主要)
	21	カワセミ				自然(主要)
	22	クマガラ	天然	VU	Vu	自然(主要)
	23	オオアカゲラ			N	
	24	コアカゲラ			R	
	25	アカモズ		NT	R	
	26	シマアオジ		NT	R	
魚類	1	スナヤツメ		VU		
	2	シベリアヤツメ		NT	R	
	3	ヤチウグイ		NT		
	4	マルタ			N	
	5	エゾウグイ			N	
	6	エゾホトケドジョウ		VU	En	
	7	シラウオ			R	
	8	ヒメマス			Cr	
	9	サクラマス			N	
	10	ヤマメ			N	
	11	降海型イトヨ			N	第2(選定)
	12	トミヨ				第2(選定)
	13	イバラトミヨ(キタノトミヨ)			R	第2(選定)
	14	ハナカジカ			N	
	15	ルリヨシノボリ			R	
	16	モノアラガイ		NT		
	17	オシヨロコマ		NT	R	

表 2-3 網走川の特定種-3

区分	NO	種名	指 定 区 分			
			文化財保護法	環境省レッドデータブック	北海道レッドデータブック	その他
昆虫類	1	セスジイトトンボ			R	
	2	コエゾトンボ				自然(自然)
	3	ナツアカネ			R	
	4	エゾアカネ			R	自然(自然)
	5	クロスジコアオカスミカメ			R	
	6	ズイムシハナカメムシ		CR+EN		
	7	ナナホシクサカゲロウ			R	
	8	ヒメアミメトビケラ			R	
	9	カラフトタカネキマダラセセリ				自然(自然),第2(特定)
	10	ギンイチモンジセセリ		NT	N	
	11	チャマダラセセリ		CR+EN		第2(特定)
	12	カバイロシジミ				自然(主要),第2(特定)
	13	ゴマシジミ		VU	N	
	14	ジョウザンシジミ				自然(自然),第2(特定)
	15	シロオビヒメヒカゲ北海道東部亜種				自然(自然),第2(特定)
	16	アナバネゴミムシ			R	
	17	クマガイクロアオゴミムシ			R	
	18	エゾアオゴミムシ			R	
	19	セスジアカガネオサムシ				第2(特定)
	20	アイヌキンオサムシ				自然(自然),第2(特定)
	21	アイヌハンミョウ			Vu	
	22	オオツヤバネベニボタル			R	
	23	ケマダラカミキリ		NT	N	
	24	エゾカミキリ			R	第2(特定)
	25	クビボソハナカミキリ				第2(特定)
	26	クロルリハムシ			R	
	27	カワカミハムシ			R	
	28	コニシケブカハムシ			R	
	29	セボシクサカゲロウ			R	
	30	<i>Drepanopteryx punctatus</i>			R	
	31	ヒョウモンチョウ		NT		
底生動物	1	マルタニシ		NT		
	2	モノアラガイ		NT		
	3	セスジイトトンボ			R	
	4	キタイトトンボ				自然(自然),第2(特定)
	5	マンシュウイトトンボ		NT	R	自然(自然),第2(特定)
	6	ヒメリスアカネ			R	自然(自然)
	7	カラフトゴマフトビケラ			R	
	8	ムカシトンボ			N	
	9	ゴマフトビケラ属の一種			R	
	10	キボシツブゲンゴロウ		NT		
	11	ハセガワドロムシ			R	

(出典：河川水辺の国勢調査)

- ・文化財保護法
 - 天然：天然記念物
 - 特天：特別天然記念物
- ・環境省レッドデータブック(2000)
 - EX：絶滅
 - CR：絶滅危惧ⅠA類
 - NT：準絶滅危惧
 - EW：野生絶滅
 - EN：絶滅危惧ⅠB類
 - DD：情報不足
 - CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類
 - VU：絶滅危惧Ⅱ類
 - LP：地域個体群
- ・北海道レッドデータブック(2001)
 - Ex：絶滅種
 - En：絶滅危惧種
 - Lp：地域個体群
 - Ew：野生絶滅種
 - Vu：絶滅危急種
 - N：留意種
 - Cr：絶滅危機種
 - R：希少種
- ・その他
 - 自然：緑の国勢調査 - 自然環境保全調査報告書 - (環境庁 1976)
 - (貴重)貴重植物 (主要)主要野生動物 (自然)すぐれた自然
 - 第2：第2回緑の国勢調査 - 自然環境保全基礎調査報告書 - (環境庁 1983)
 - (選定)環境庁選定種 (特定)特定昆虫類
 - 絶滅：絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律 (平成4年6月5日 法律第75号)
 - (国内)国内希少野生動植物種

2-2 河川及びその周辺の自然環境

(上流部)

- ・天然林が多く残り、キタミフクジュソウ、クリンソウ等の植物が生育
- ・サケやカラフトマスが上流域まで遡上しており、サケの産卵床が分布

(中流部)

- ・広い畑地帯に調和した河川景観を形成、サクラマスやシベリアヤツメ等が生息
- ・高水敷はハルニレ群落、ヤナギ群落、ヨシ群落が分布
- ・河畔公園、運動公園が整備され、イベントやスポーツ等に利用

(下流部)

(網走湖～美幌川合流点付近)

- ・美幌川合流点から網走湖までの下流域は、ワカサギ産卵床が連続して分布
- ・河岸はエゾノキヌヤナギやクサヨシが繁茂し、オジロワシ、オオワシが飛来
- ・広い高水敷は採草地等に利用

(網走湖)

- ・国定公園にも指定され、貴重な湿生植物群落やアオサギの営巣地
- ・網走湖の水質はCOD75%値が環境基準を満足していない
- ・「アオコ」や「青潮」の発生による漁業資源等への悪影響が懸念されている

(感潮域)

- ・網走市街地を貫流
- ・網走湖から下流は、良好な河畔林
- ・オジロワシ、オオワシ等の多様な鳥類の生息地

2-3 特徴的な河川景観や文化財等

2-3-1 景観・景勝地

網走川流域は、網走湖およびチミケップ湖の湖沼景観を始めとした自然景観に恵まれている。湖の周囲ではキャンプ場や公園等の自然とふれあう場を提供しており、網走湖周辺には温泉地が点在している。

美幌町から弟子屈町間には主要観光ルート的美幌峠があり、展望台からは屈斜路湖や摩周岳、斜里岳までが一望でき、津別峠と並び主要観光地となっている。

また、流域内市町村では四季を通じて多彩なイベント等を開催し、住民が一带となって観光を盛り上げている。



網走湖



美幌峠

表 2-4 主な観光対象

項目	市町村名	名称	内容
湖沼	網走市・女満別町	網走湖	網走市と女満別町に、またがる緑の樹林に覆われた静かな湖です。湖畔のキャンプ場では夏を、わかさぎ釣りでは冬を楽しめます。4月下旬から女満別から呼人の間の湖畔では、ミスバショウの群落が美しく広がります。
	津別町	チミケップ湖	原生林が生い茂り、天然記念物のクマゲラをはじめとする野鳥、野生生物が生息しており、阿寒湖と並ぶヒメマスの原産湖として知られています。また、野鳥公園や野鳥観察舎があります。
温泉	女満別町	網走湖温泉郷女満別温泉	市街地に3ヶ所ある天然温泉を総称して、網走湖温泉郷女満別温泉と呼んでいます。
	網走市	網走湖畔温泉	網走湖を一望する高台にある温泉で、近くにはミスバショウ群生地や探鳥遊歩道があり、豊かな自然を満喫できる。
体験施設	美幌町	美幌航空公園	パラグライダーやウルトラライトプレーンなどが体験できます。
恒例イベント	網走市	流水観光砕氷船「おーら」運航	世界ではじめて観光を目的とした砕氷船「おーら」でのクルージングは迫力満点。航海のもう1つの目的はアザラシやオオウシ等のオホーツクの仲間との出逢い。北の海から大自然を強く感じられる。
	網走市	あばしりオホーツク流水まつり	厳寒の網走港をステージに開催される、オホーツクを代表する冬の祭典。氷と雪の彫刻や流水みこし・流水レガッタ・オロチョンの火祭りなど。
	網走市	オホーツク・インターナショナル歩くスキーフェスティバル	参加者は自分の体力に合わせて、4つのコースから選んで競技を楽しむ歩くスキーフェスティバル。流水を間近に眺めながらの国際色豊かな雪原の祭典。
	網走市	北の新大陸発見！あつたか網走	冬期ロングラン体験イベントとして網走湖畔で開催します。昼の部は、スノーモービル・四輪バギー・氷上バナナボート・氷のすべり台等冬を思いっきり体験できます。夜の部は、灯かりで氷上原生花園を演出。
	美幌町	びほろ冬まつり	恒例となった「千人鍋」の無料提供や「雪合戦」、「雪入れ合戦」など楽しいイベント盛りだくさんです。
	津別町	津別かっこう大会	3.0kmのコースを豪快に滑る滑降競技大会。
	網走市	天都山さくらまつり	天都山には約1,000本のエゾヤマザクラが咲き、5月中旬が見ごろ。天都山の桜まつりは、日本列島を3ヶ月かけて北上する桜前線のフィナーレとなる。
	美幌町	美幌峠まつり	光客の旅路の安全と峠の賑わいが祈願され、カムイミノ(アイヌ民族による安全祈願)が行われて、アイヌの人々の民族舞踊などの伝統芸能も披露されます。最後に勇壮な美幌峠太鼓で美幌の春の訪れを祝います。
	網走市・北見市・端野町・女満別町・小清水町	でっかいどうオホーツクマーチ	オホーツクの自然と味覚を楽しみ、健康作りをめざしたイベント。5つの市町を2日間かけて楽しくとにかく歩きに歩く。
	女満別町	女満別メルヘンツデーマーチ	平成15年度より「でっかいどうオホーツクマーチ」の1大会として、名称を変更して開催。女満別町の自然景観を楽しみながら、2日間ウォーキングします。
	網走市	あばしりオホーツク夏まつり	オホーツクの短い夏を楽しむ市民参加のお祭り。毎年3,000人もが踊る「流水音頭パレード」は、中心街の歩行者天国が会場。ハイライトはオホーツクの空に映える花火大会。
	網走市	網走川祭(かわったさい)	あばしりオホーツク夏まつりの一環として行われ、網走川左岸を舞台に水上特設ステージでアマチュアバンドがロックなどを演奏。さらに氷上綱引きなどが行われるほか、屋台も並んで祭りを盛り上げる。
	網走市	オロチョンの火祭り	神と通じ合うことのできる特能者(シャーマン)が登場し、伝統に沿って繰り広げられる厳粛なお祭り。北方系民族の儀式や風俗を取り入れた網走だけのユニークな行事。
	津別町	津別川溪流フィッシング大会	21世紀の森キャンプ場及び河岸公園付近の津別川においてニジマス釣り大会。
	津別町	つべつ夏まつり	自作ダンボール舟川くだり大会、千人踊り、山鳴太鼓等イベント盛り沢山。
	美幌町	びほろ100kmデュアスロン大会	美幌の大自然を自転車とマラソンで走破。
	女満別町	めまんべつ観光夏まつり	湖畔の水上花火大会をはじめ、シジミのつかみ取りなど水辺に親しむイベントがいっぱい。
	網走市	網走ハーフマラソン	網走市街から原生花園の間の道路は、マラソンの公認コース。市民参加のマラソンとして年々参加者も増加している。夏場にマラソンができるのも、爽やかな網走ならではといえる。
	津別町	つべつ納涼盆踊り大会	ふるさと情緒たっぷり盆踊り。大会最終日には毎年趣向を凝らした仮装をして、大人も子供もやぐらを囲んで踊ります。
	津別町	津別マウンテンエンデューロ	泥地、岩場、川渡り、林道を含む山林60km、オフロードバイクで走るモーター競技。
	美幌町	びほろサマーナイトフェスティバル	夜の路上を舞台に熱く繰り広げられるダンスの祭典
	網走市	七福神まつり	その昔の網走の風物詩であった七福神めぐりと、網走地方の代表的な地域産物の美りを喜ぶ祭り。
	女満別町	白魚まつり	9月中旬に行なわれるおまつり。白魚は、網走湖で採れる透明なサケ科の魚。
津別町	つべつふるさとまつり	この秋祭りの名物は町内を練り歩く郷土芸能「駒踊り」そして津別鹿鳴郷の面々による「みこし」があります。	
美幌町	美幌スカイカップ	パラグライダー競技	
網走市	カーニバルオホーツク	オホーツクの味覚の収穫祭ともいえるのがこのカーニバルオホーツク。鮭のつかみ取りやサーモンレースなどのイベントのほか、網走の味覚が即売される。	
女満別町	収穫感謝まつり	地元野菜の特売やもちまきなどが行なわれます。	
津別町	つべつ紅葉マラソン大会	原始林の中を走る森林浴マラソンです。競技としてのマラソンではなく自然との一体感を楽しんでいただく為の大会。	
美幌町	びほろ産業まつり	ステージアトラクションや特産品の即売が行われます。	
津別町	つべつカップ回転競技大会	国際スキー連盟(FIS)公認	
津別町	つべつカップ大回転競技大会	全日本スキー連盟B級公認(北海道スキー連盟A級公認)	
美幌町	美幌観光和牛まつり	青空の下で5万人が集まる、美幌和牛大バーベキューパーティー、ステージアトラクション、子供広場などのイベントが盛り沢山。	

2-3-2 文化財

網走川流域には歴史的に重要な文化財、史跡は表 2-5に示すとおり国指定で4件、道指定が2件(内1件は北海道遺産)、市指定が3件、町指定が4件である。

表 2-5 指定文化財

指定の種類	名称	所在地 指定年月日	概要
国	桂ヶ岡砦跡	網走市桂町昭10.12.24	桂ヶ岡広陵の一端に大小二つのチャシ(砦)が築かれている。先住民族はその上に立ち、向かいあってチャランケ(談判)したことからチャランケチャシの名も残っている
国	最寄貝塚	網走市北1条東2丁目昭11.12.16	純海岸性の貝塚で、モヨロ貝塚人として著名である。オホーツク式文化の宝庫。
国	天都山	網走市天都山昭和13.12.14	国指定名勝、標高207メートルの低い山ではあるが、オホーツク海をはじめ、網走湖、能取湖、涛沸湖、藻琴湖、はるか知床や阿寒の山並まで壮大な眺めである。
国	女満別湿生植物群落	女満別町網走湖南岸～網走市呼人昭47.6.14	網走湖南部東岸、ヤチダモおよびヤチハンノキを主とする落葉広葉樹の自然林である。林床には、ミスバショウの広大な群落が延長約2kmにわたって我が国北部の低湿地林のひとつとして、ミスバショウの代表的な群生地として学術上価値が高い。
国	博物館網走監獄教誨堂	網走市呼人1-1平成17.7.12	桁行17間半梁間7間の木造平屋建てで、入母屋造、椽瓦葺とし、軒に垂木を見せる。外壁は柱形付下見板張で、腰を縦羽目板張とし、櫛形ベディメント付の上げ下げ窓を開く。内部は無柱の広間で、内壁と折上天井を白漆喰塗とする。収監施設の近代化を示す遺構。
国	博物館網走監獄五翼放射状平屋舎房	網走市呼人2-2平成17.7.12	中央見張所から45度毎に切妻造平屋建ての房舎5棟を接続する。外壁は柱形付の下見板張である。見張所は寄棟造で正面を切妻造としハンマービーム構造を見せ、房舎は棟に明り取りの天窓を設けた中廊下で、小屋組はタイバーを用いたクインポストトラスとする。
国	博物館網走監獄二見ヶ岡農場	網走市呼人3-3平成17.7.12	北海道集治監網走分監の泊込作業場として建設。木造平屋建てで、庁舎の背後に食堂・講堂棟、舎房棟を並置し、食堂には作業場、洗濯・足洗場が接続し、渡廊下が炊場棟を結ぶ。庁舎の外壁は柱形付の下見板張で、腰を縦羽目板張とし、欄間付の引違い窓を開く。
北海道遺産	オホーツク沿岸の古代遺跡群	網走地域	オホーツク沿岸地域では縄文、続縄文、オホーツク文化、アイヌ文化まで各時代の遺跡が分布し、白滝村など内陸部では旧石器時代の遺跡が多く見られる。オホーツク沿岸の遺跡は樺太・シベリアなど大陸諸文化との関係が強く認められ、堅穴住居が連続と残る常呂遺跡、オホーツク文化遺跡として著名なモヨロ貝塚、縄文後期の朱円周墳墓などが代表格。
道	女満別石刃 鏃遺跡出土の遺物	女満別町西3条3丁目1昭43.1.18	女満別町豊里遺跡から出土し、主に旧石器時代のもと同様の石刃が主体をなしている。(石刃等760個)
市	永専寺山門	網走市南6条東2丁目昭和54.2.10	明治末期に作られた旧網走刑務所正門で、大正11年に永専寺山門として移築された。和風と洋風混合の独特のつくりで、擬洋風建築のながれを継ぐ貴重な遺構であり、北海道行刑史上からもきわめて重要な施設である
市	鱒浦稻荷神社絵馬	網走市字鱒浦78番地昭和54.2.10	鱒浦稻荷神社と同じように又十藤野が航海の安全と大願成就の感謝のしるしとして奉納した絵馬で、文政4年から明治6年まで10枚奉納された。
市	ボンモイ柱状節理	網走市台町3丁目昭和58.3.5	大規模に広がっている安山岩の柱状節理は、市街地至近の距離に位置し、オホーツク海の碧と調和して美しい海岸景観を呈するとともに崖面に露頭する多角形断面はその形状種類が多く、岩漿運動(マグマ)の複雑な様相を調べるうえでも地質学上貴重な価値がある。
町	美幌小学校カシワの木	美幌町平成11年	美幌小学校のカシワの木は、推定樹齢350年以上と言われている大木。校庭、プール横、体育館横に数本の巨木がある。
町	ベニバナヤマシャクヤク自生地	美幌町野崎・柏が丘公園樹木園平成11年	ベニバナヤマシャクヤクは、ポタン科の植物で、6月頃にピンク色の鮮やかな花をつける。盗掘が相次ぎ、西日本ではほぼ絶滅し、北海道でも近い将来絶滅するのではないかと危惧されている。そのベニバナヤマシャクヤクの自生地が、野崎・柏が丘公園樹木園の内にある。1996年に博物館と有志らで、自生地を保全するために案内板と簡易防護柵を設置した。
町	絵模様つき礫(れき)	美幌町みどり遺跡発掘現場平成11年	縄文時代中期の絵模様つき礫(れき)で、隅丸三角形の扁平な石の表面に、黒色顔料を用いて円形が描かれており、円の外側には放射状の6本の線が描かれている。縄文時代中期のこのような資料は、全国的にも珍しいと言われている。
町	瑞治足柄奴(みずはるあしがらやっこ)	美幌町平成11年	昭和2年、美幌神社秋季祭典のお御輿の先導として、瑞治などの青年らにより神社に奉仕された。以来、毎年9月5日に美幌神社を出発して、「エンヤーエンヤー」の掛け声に合わせて、25名編成の瑞治足柄奴保存会の行列が、氏子全域を巡行する。地域で親子代々が担い手となり、70年余り継承されてきた貴重な民俗芸能。

2-4 河川環境をとりまく背景

網走川では、川の親しみを広げる催し、イベント等による利用等様々な活動が行われている、なお、網走川の年間利用者数は約58.0万人(平成14年度河川水辺の国勢調査)であり、スポーツ利用が約半数(48.6%)を占める。

河川空間利用に関しては、水辺プラザ、網走湖畔キャンプ場等の住民が川とふれあえる空間や川による地域間交流ができる場が整備される等により親水性の高い河川として利用されている。



水辺プラザ



網走湖畔キャンプ場



網走湖のワカサギ釣り



網走湖での漕艇競技

2-5 市民活動

網走川流域では、網走市網走川整備検討委員会、網走川河道整備促進協議会等が組織され、網走川の治水効果の早期向上や河川整備について官民一体となって検討をしている。また、関係機関で構成される網走湖環境保全対策推進協議会により、平成13年に「網走湖の水質保全に関する提言」がなされた。

流域の水防団は、災害発生時には河川管理者と連携を図り、被害軽減に努めている。また、網走川の環境を守るため、河川管理者と一緒に地域住民の方々のボランティアによる清掃活動を実施している。

住民とのふれあいを深めるため「美幌和牛祭り」や「網走川祭」等が実施されている。



美幌和牛祭り



清掃活動

2-6 自然公園の指定状況

網走川流域は自然環境に恵まれた地域が数多く存在しており、これらの保護・保全管理が図られている。網走川水系における自然公園等の法令指定状況は以下の通りである。

2-6-1 鳥獣保護及ビ狩猟ニ関スル法律に基づく鳥獣保護区

【鳥獣保護区】

6ヶ所で鳥獣保護区が指定されている。また、銃猟禁止区域は1ヶ所で指定されている。

2-6-2 国指定天然記念物

網走国定公園内において、女満別湿性植物群落が昭和47年6月14日指定されている。

網走湖南部東岸、ヤチダモおよびヤチハンノキを主とする落葉広葉樹の自然林であり、林床には、ミズバショウの広大な群落が延長約2kmにわたって我が国北部の低湿地林のひとつとして、ミズバショウの代表的な群生地として学術上価値が高い。

2-6-3 国立公園・国定公園

(1) 阿寒国立公園

阿寒国立公園の区域は、美幌町、津別町、弟子屈町、標茶町、鶴居村、白糖町、足寄町の6町1村にまたがっており、その面積は90,481ha(平成17年3月末現在)となっている。

雌阿寒岳をはじめ火山が連なり、深い森に囲まれている。また、マリモが生育する阿寒湖、世界有数の透明度を誇る摩周湖、周囲に強酸性の温泉が点在する屈斜路湖等の湖を有している。

表 2-6 阿寒国立公園の概要

阿寒国立公園 昭和9年12月4日指定	町名	面積(ha)
	東藻琴村	500
	美幌町	1,281
	津別町	1,283
	清里町	465
	小清水町	930
	足寄町	4,355
	標茶町	4,256
	弟子屈町	50,714
	阿寒町	25,598
	白糖町	562
	中標津町	537
	公園合計	90,481

(2) 網走国定公園

網走国定公園は、オホーツク海に面し、網走市を中心にしてその両側に広がる海浜公園である。面積は37,261haあり、佐呂間湖をはじめとして、網走湖、能取湖等大小7つの湖沼を有している。

表 2-7 網走国定公園の概要

単位：ha

市町村名	特別地域					普通地域 (陸域)	合計 (陸域)
	特別保護	第1種	第2種	第3種	小計		
網走市	0	170	9878	5012	15060	12	15072
女満別町	0	93	1474	71	1638	0	1638
斜里町	28	0	463	0	491	0	491
小清水町	38	107	996	0	1141	0	1141
佐呂間町	0	0	6081	535	6616	62	6678
常呂町	0	590	5379	36	6005	52	6057
湧別町	0	29	5466	549	6044	140	6184
合計	66	989	29737	6203	36995	266	37261

表 2-8 各種保護地域指定一覧

整理番号	市町村	鳥獣保護区名	区域	存続期間	備考
204	網走市	呼人	網走市に所在する国有林網走事業区126林班、127林班のうち、イ小班を除く各小班、字呼人349番地のうち、1から9まで、350番のうち、1から3まで及び9並びに上記区域に隣接する網走湖河川敷地一円	S58.10.1 ~ H15.9.30	森林鳥獣生息地 155ha
213	女満別町	女満別	網走郡女満別町字湖南413番地の2の北東端と北海道旅客鉄道株式会社石北本線鉄道敷地の北東端との交点を起点とし、この点から同番地と同鉄道敷地との境界を南西に進み同石北本線との交点に至り、この点から同線を西に進み湖南396番地との交点に至り、この点から同線を190m進み同線から北東に直角に進み国有林網走事業区128林班界より10m手前との交点に至り、この点から同林班界を同線側に10mの幅をとって進み同町字湖南382番地1との交点に至り、この点から東に進み同石北本線との交点に至り、この点から同線を南に進み同町字昭9線との交点に至り、この点から同9線を北西に進み国有林網走事業区128林班との交点に至り、この点から同林班界を南西に進み同林班の南西端に至り、この点から北西を見通して網走湖の湖岸線に至り、この点から同湖岸線を北東に進み、さらに湖岸線に沿って起点を南に見通す点に至り、この点から南を見通して起点に至る線に囲まれた区域 [特保]網走郡女満別町に所在する国有林網走事業区128林班、並びに網走郡女満別町字湖南413番地2の北東端から北を見通して湖岸線に至る線から西側及び国有林網走事業区128林班の南西端から北西に見通して湖岸線に至る線の北東側に所在する河川敷の区域	H12.10.1 ~ H22.9.30	集団繁殖地 120ha [特保] 88ha
210	美幌町	藻琴山	網走郡美幌町に常呂に在る国有林網走事業区18林班に及びイから八までの各小班及び網走郡東藻琴村に常呂に在る国有林網走事業区254林班ろ小班、255林班に、ぬ及びイの各小班、256林班へ小班、257林班は、と、り、イ、八、二及びホの各小班、258林班ろ小班、259林班に、と、ぬ、れ、そ、つ、む、う、く、や、口、へ、からヌまで、ヲ及び力の各小班、260林班ろ、は、ほ、り、ぬ、口からホまでの各小班、261林班はからほまで、イから八まで、ホ及びトの各小班、265林班は及びイの各小班並びに国有林小清水事業区53林班へからちまで、る及びロの各小班並びに斜里郡小清水町に常呂に在る国有林小清水事業区35林班たからねまで、及びハの各小班、36林班はからへまで、ち及びイからチまで、46林班ち、ほ、へ及びハの各小班、51林班いからちまで及びイからチまで及び53林班ろからにまで及びイの各小班的区域一円	S61.10.1 ~ H18.9.30	森林鳥獣生息地 1,124ha
206	津別町	チミケップ湖	網走郡津別町に所在する道有林北見経営区153林班から156林班まで、159林班及び160林班並びにチミケップ湖の区域	H13.10.1 ~ H33.9.30	森林鳥獣生息地 1,415ha
207	津別町	最上	網走郡津別町字最上に所在する道有林野北見経営区第111林班及び112林班の区域一円 [特保]最上鳥獣保護区のうち道有林北見経営区112林班03、10から12まで、94及び98の各小班的区域一円	S59.10.1 ~ H16.9.30	森林鳥獣生息地 448ha [特保] 32ha
208	津別町	木禽岳	網走郡津別町に所在する国有林津別事業区98林班、99林班、102林班ろ小班、125林班のうち、は、に及びるの各小班並びに126林班のうち、は、に、た及びその各小班的区域一円	S58.3.31 ~ H15.3.30	森林鳥獣生息地 500ha
整理番号	市町村	銃猟禁止区域	区域	存続期間	備考
46	網走市	大曲呼人	網走市字大曲に所在する一般道網走常呂自転車道線と網走川との東側交点を起点とし、この点から同川右岸(河川敷地を除く。)を南西に進み網走湖口との交点に至り、この点から同湖畔を南西に進み字呼人の呼人半島突端に至り、同点から網走湖口と網走川左岸(河川敷地を除く。)との交点を見通した線を北東に進み同交点に至り、この点から同川左岸(河川敷地を除く。)を北東に進み一般道網走常呂自転車道線との交点に至り、この点から同自転車道を北東に進み起点に至る線に囲まれた区域一円	H6.10.1 ~ H16.9.30	139ha

平成14年度鳥獣保護区等位置図(別冊編)より

